



私の
**なんとか
しなきゃ!**

Vol. 4

PROFILE

静岡県出身。東京大学法学部卒業。大学時代から本格的にボサノヴァ、ジャズヴォーカルを学び、1995年にメジャーデビュー。ニューヨークのBlue Noteで、日本人歌手として初のライブ公演を行う。社会貢献活動にも熱心に取り組み、自ら発起人となって「Breath for Peace～平和への息づかい～」を開始。紛争地で生まれた歌を集めて発信している。「なんとかしなきゃ!プロジェクト」著名メンバー。

大学時代は、弁護士を目指して司法試験の勉強をしていました。今では考えられませんが、当時は勉強して勝ち続けることでしか、人生をサバイバルしていけないと思っていたんです。

でも勉強を続けるうちに、何だか変だと思うようになりました。ただ偉くなることだけを指す人生が、果たして幸せなんだろうか。それから「生きる」ということの本当の意味を考えるようになりました。

私は自分の問いへの答えを“歌”を通して表現することを選びました。“歌う”ということは、心を開いて聴く人と“つながる”こと。それに気付いてから、今も地球の裏側で苦しみ、悲しんでいる人たちの存在を、同じ“人”として見過ごせなくなりました。音楽は音と音の調和から生まれるもの。世界の平和も同じで、人と人との調和から始まるのではないかという思いがありました。



心に平和を感じてほしい

ヴォーカリスト **鈴木 重子**

SUZUKI Shigeo

現代の日本社会に生きる私たちは、物質的にはとても豊かで恵まれています。でも、心の一番奥にあるもの、人としてのつながりの確かさや温かさといったものに、飢えているような気がしてなりません。今、助けを必要としている声に耳を傾け、手を差し伸べることは、彼らのためだけではない。私たち自身の「命の尊さ」を、再び思い起こすことにつながると思うのです。

私は昨年、「Breath for Peace～平和への息づかい～」というプロジェクトを立ち上げました。世界中の紛争地で生まれた平和の歌を集めて、多くの方々に聴いていただくための活動です。きっかけは、友人の日本人ジャーナリストが、コンソボを取材した時に作った歌。一つの川を隔てて分断されてしまった国の現状を淡々と表現しているのですが、JICA地球ひろばのライブで、歌い終わった後に、長い深い夢から覚めたような、とても不思議な気

持ちになりました。まるで自分がその歌の生まれた場所にいたような…。たくさんの方々から「心を動かされた。自分自身が平和のために何ができるかを考えました」といった感想をいただきました。音楽は平和のための大きな力になりうると信じ、これからも歌い続けていきます。

今の私の夢は、実際に紛争のあった国に行き、その土地の人たちと一緒に歌うこと。彼らの喜びや悲しみ、肌のぬくもりなどを五感で感じ、それをまた音楽で表現していきたい。世界中の人々が平和を“呼吸できる”ように、歌を通してお手伝いできればと願っています。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトを中心に、さまざまな国際協力のカタチを提案していきます。[なんとかしなきゃ.jp](http://nankotoshinakya.jp)
詳しくはこちらから→